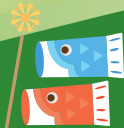


秋田県五城目町  
朝市と城のある町

# みんなの町議会



**すこやかな未来願う こいのぼり**  
(もりやまこども園の園児たち)



## 主な内容

- 3月定例会の概要 ..... 2
- 常任委員会の焦点 ..... 6~7
- 一般質問に9名登壇 ..... 8~17
- オレたち傍聴族 ..... 18

## Contents

**No.166**  
2026.5.1

3月定例会は3月2日から10日まで9日間の日程で開かれた。

### 初日

荒川町長は施政説明で、令和8年度一般会計当初予算の方針は「根底から強い町」「町民が主役」「圧倒的に子育てを応援」「儲かる農林業・地域産業」「文化の薫り高い町」を5つの柱とし、その実現に向けた施策として

- 内水浸水対策
  - 企業誘致専門監の雇用により企業誘致とふるさと納税事業の強化
  - 町公式LINEの運用開始
  - こども家庭センター設置
  - こども誰でも通園制度・体調不良児対応型保育の実施
  - 基盤整備事業や農林事業者支援
  - ICTを活用した有害鳥獣対策
  - 公民館施設などの環境性向上
- などについて述べた。
- 小玉教育長の施政説明では、
- 誰一人取り残さない教育を目指す
  - ふるさと教育や教育留学を通じた地域と連携した人材育成
  - 教員の働き方改革や学習環境の整備

○地域コミュニティの活性化  
○スポーツフェスの開催  
などを述べた。

### 2日目

一般質問に7名が登壇。町有林の適切な管理、公共施設の活用計画、除雪、クマ被害対策、地域医療、空き家対策、重層的支援体制整備事業などについて質問した。

### 3日目

2名が一般質問に立ち、買い物支援、教育留学や学童保育の充実などについて質問。

当局より令和8年度一般・特別会計予算など議案25件が上程された。

### 4日目～5日目

各常任委員会を開催。

### 最終日

各常任委員長報告のあと、全議案を全会一致で可決、承認。陳情1件を全会一致で採択し、委員会提出議案2件を可決した。また、人事案件1件に同意し、閉会した。



(佐沢由佳子)

# 町民の幸福度向上と持続可能な発展を目指す

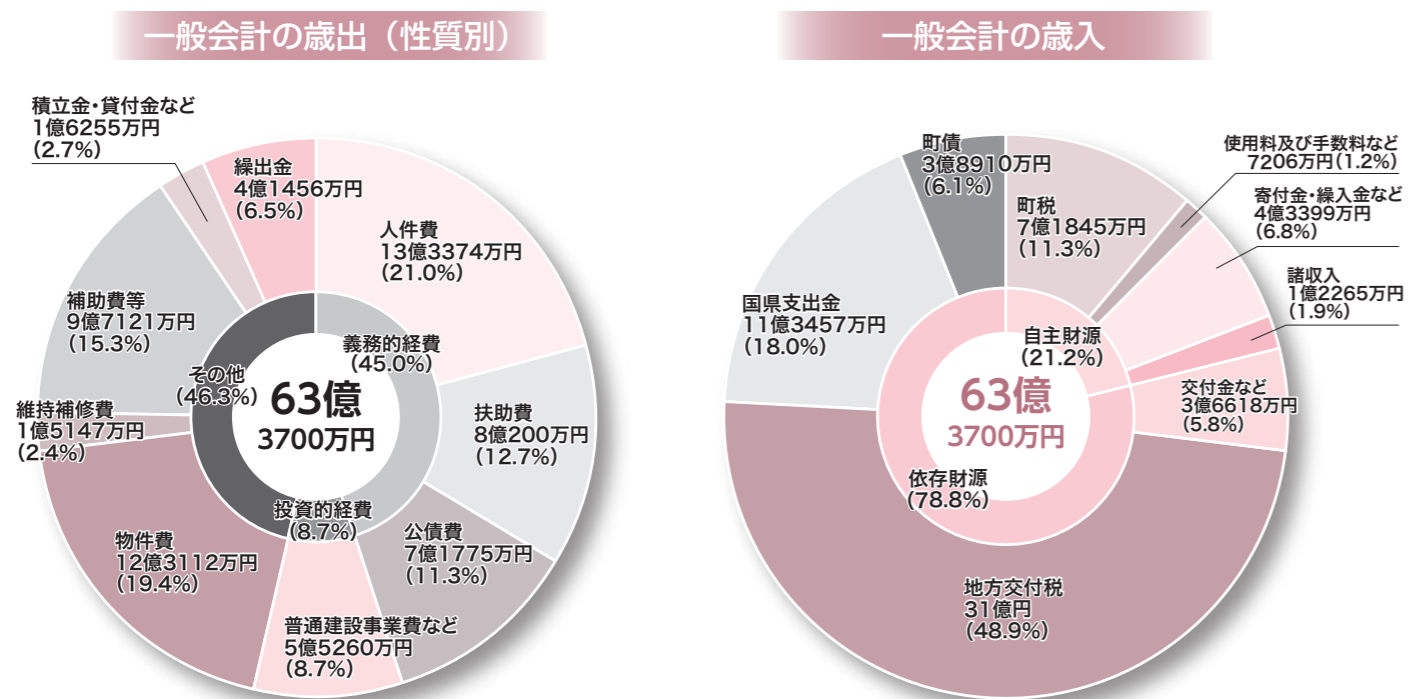
## 稼ぐ力の向上へ

### 予算概要

令和8年度一般会計当初予算は、歳入歳出63億3700万円。自主財源が2割程度にとどまり、財源を生み出す力が依然として弱い状況が続いており、ふるさと納税のさらなる推進、企業誘致など、地域内で稼ぐ力の向上への取り組みが課題である。

また、人口減少や少子高齢化の進行により、税収の伸びが見込みにくい状況である。持続可能な財政運営を図るためには、国・県の有利な財源を最大限に活用し、事業の選択と集中をより一層進める必要がある、議会としても注視していく。

## 前年度に比べ、3億7600万円の増



### ◆令和8年度の主な予算◆

コンビニ交付サービス導入事業	2317万円	道路整備事業	2億4350万円
こども家庭センター事業	995万円	バスケットゴール更新事業	3278万円
病児保育事業 (体調不良時対応型)	455万円	温水プールのプール槽塗装改修事業	1632万円

# 第1回臨時会

令和8年4月3日

冒頭町長より、職員によるハラスメントと農業委員会での瑕疵ある議決の2件について謝罪があった。

農業委員会総会において、法令要件を満たさないまま審議が進められたため、56件の議案が無効となり再審議を行う。

今回の事案を重く受け止め、再発防止と法令遵守の徹底に取り組むと述べた。

任期満了に伴い、議会運営委員会・各常任委員会・議会広報編集委員会委員を選出し、それぞれ正副委員長を互選した。

その後、議員発議による議会改革調査特別委員会の設置案を可決し閉会した。

## 議会運営委員会

- ◆ 議会の運営、会議規則、委員会に関する事項
  - ◆ 議案（条例・予算・契約）及び請願、陳情に関する事項
  - ◆ 議長の諮問に関する事項
  - ◆ その他、議会運営に関する事項
- これらを円滑に進めるため協議する。

委員長 佐々木仁茂  
副委員長 石川 重光  
委員 佐沢由佳子  
松浦 真  
工藤 政彦  
椎名 志保  
石川 交三  
齋藤 晋

## 総務産業 常任委員会

- ◆ 総務課  
まちづくり課  
税務会計課  
選挙管理委員会  
農林振興課  
商工振興課  
建設課
- ◆ 農業委員会の所管に関する事項
- ◆ 右記に関する条例及び工事に関する事務の調査及び議案、請願、陳情などに関する事項
- ◆ 他の常任委員会の所管に属さない事項  
これらの審査を行う。

委員長 松浦 真  
副委員長 小玉 正範  
委員 石井和歌子  
石川 重光  
石井 光雅  
佐々木仁茂  
館岡 隆

## 教育民生 常任委員会

- ◆ 学校教育課  
生涯学習課  
住民生活課  
地域福祉課  
健康推進課  
子育て支援課
- ◆ 消防本部の所管に関する事項
- ◆ 右記に関する条例及び工事に関する事務の調査及び議案、請願、陳情などに関する事項  
これらの審査を行う。

委員長 工藤 政彦  
副委員長 中村 信子  
委員 伊藤 信子  
石川 交三  
佐沢由佳子  
椎名 志保  
齋藤 晋

## 議会広報 編集委員会

- ◆ 町民にとって分かりやすく親しまれる広報づくりに徹する

委員長 佐沢由佳子  
副委員長 伊藤 信子  
委員 石井和歌子  
小玉 正範  
中村 信子  
石川 重光  
松浦 真  
工藤 政彦  
石川 交三  
齋藤 晋



(佐沢由佳子)

新年度を迎え新たな気持ちでスタート

## 議会改革調査特別委員会

- (1) 議員定数に関する事
  - (2) 議員報酬に関する事
  - (3) その他議会改革に関する事
- これらを調査・協議すること  
委員は、議長を除く13名全員とする。

委員長 椎名 志保  
副委員長 松浦 真  
幹事 小玉 正範  
委員 中村 信子  
石川 重光  
工藤 政彦  
齋藤 晋  
石川 交三

## 議会議員全員協議会

### 第1回 令和8年2月13日

#### 協議案件

- 福祉行政サービスの充実に向けた組織再編
  - 五城目町過疎地域持続的発展計画
  - 恋地大橋橋梁補修
- これらについて協議した。

#### 報告案件

- 五城目町地域福祉・地域福祉活動計画
- 町有光ファイバーケーブル設備
- 赤倉山荘存廃検討状況
- 朝市振興
- 道路除雪・間口除雪予算執行状況
- ゴミ広域処理中継施設

### 第2回 令和8年4月10日

#### 報告案件

- 支払いの遅延について  
工事請負費などの支払い振込依頼データ229件を支払日前日に取り消したため、予定日に支払いができない事態が発生。臨時庁議を開催し対象者へ電話で謝罪。翌日には全件の支払いを完了。町長と会計管理者から支払い遅延に関するお詫びと説明を受け、議員からは再発防止を指摘した。

## 陳情と意見書

### 採 択

◆ 「最低賃金」の改正と中小企業・小規模事業所支援の拡充を国に求める意見書の採択を求める

### 陳情者

秋田県労働組合総連合 議長 高野 智子  
秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 奥井 明子

### 意見書（抜粋）

- 一、最低賃金の大幅引き上げ（時間額1,500円の早期実現）を求める。
- 二、最低賃金を全国一律に改正すること。
- 三、中小企業などへの支援策を抜本的に拡充・強化すること。
- 四、早期発効を要請。

## 議員研修報告

### 議員としての防災力を高める

#### 研修名

令和7年度市町村議員研修  
「防災と議員の役割」

研修期日 1月13日～14日

研修先 国際文化アカデミー

参加議員 松浦 真

## 人権擁護委員の推薦に同意

再任

伊藤 春美氏  
(町村)



## 事務局職員紹介

新事務局職員 宮城 梓



初めてのことがばかりですが、円滑な議会運営に努めて参りたいと思います。よろしくお願ひ致します。

(佐沢由佳子)

# 子育て支援を拡充



子ども家庭センターの役割をチラシに

令和8年度から健康福祉課を再編し、地域福祉課・健康推進課・子育て支援課の3課体制とする。子育て支援課は妊娠・出産から子育てを一体的に担い、切れ目のない支援体制の構築をする。

新たに子ども家庭センター事業を開始し、総合相談や情報提供機能を強化する。また、誕生祝い金に加え、祝品を贈呈する事業、子育て情報ホームページのリニューアル、18歳までを対象とした24時間オンライン医療相談「いつでもドクター」の導入など支援の充実を図る。

もりやまこども園では「こども誰でも通園制度」を開始、体調不良児対応型保育に取り組み。

**委員** 「誕生祝い品の内容はどのようなものか」

**当局** 「町内職人による革製品や木製品、陶器などに名前を刻印したオリジナル品を贈呈する。申込は4か月健診時、贈呈は10か月健診時とし、予算は1人1万円」

**委員** 「子育て施策はホームページだけでなく、チラシ配布や健診時の案内も必要ではないか」

**当局** 「効果的な周知方法を検討する」

# 教育民生 常任委員会

# 健康福祉課を3課に再編



新たな体制でスタート

# 総務産業 常任委員会

福祉行政サービスの充実を図ることを目的として、組織機構改革を行うため、五城目町課設置条例の一部を改正。現在の「健康福祉課」を4月1日より「地域福祉課」「健康推進課」「子育て支援課」の3課に再編するものである。

**委員** 「令和8年度職員数137名の中で3課体制の再編に伴う職員配置人員は」

**当局** 「具体的な職員配置は人事異動で決定することになる。職員数内で可能な限り体制の充実を図っていききたい」

執行室は、1階健康福祉課のスペースを利用。

○地域福祉課：福祉行政一般（高齢・障害・生活困窮）、介護保険、地域包括支援センター、重層的支援体制整備事業

○健康推進課：国民健康保険、後期高齢者医療保険、保健事業（健康増進・成人保健・予防接種）

○子育て支援課（こども家庭センター）：こども・子育て支援、母子保健、児童福祉

## 企業誘致に注力する

企業誘致とふるさと納税事業の強化を図るため、企業誘致専門監を雇用予定。

**委員** 「姉妹都市である千代田区との関係や企業訪問などを通じて、企業版ふるさと納税の獲得などにも取り組めないか」

**当局** 「企業誘致専門監は、町長公約の一つである企業誘致の推進を目的に配置するもの。具体的な業務内容については、現時点で詳細を詰めている段階ではない。大規模工場などの誘致だけではなく、空き家や空き店舗などを活用した小規模な事業所やリモートワークなど、地域の特性にあった企業誘致も視野に入れている」

（石川 重光）



子どもから高齢者まで楽しめるフェスに

## スポーツフェスを開催

全町体育祭の形式を見直し、町内会単位の参加や順位を競う競技中心から、誰もが気軽に参加できるスポーツフェスへ変更し実施する計画。

**委員** 「毎年開催するのか。フェスの具体的な内容はどのようなものか」

**当局** 「子どもや家族、高齢者まで幅広く参加できる種目を選定し、毎年開催とする方針。実施時期はスポーツの日に合わせた10月を予定している。スポーツ推進委員会など関係団体の協力を得て実施する考え」

## 記念写真撮影で金婚を祝う

金婚を祝う会は、従来のように対象夫婦を招待して開催する形式は行わず、新たに写真館での記念写真撮影券を贈呈する方法とする。送料を含めた記念写真代を予算に計上していると説明があった。

**委員** 「金婚式を楽しみにしている方にもいいのではないか。どのように実施するのか」

**当局** 「撮影券は郵送し、各自で予約のうえ撮影していただく。これまで祝う会への参加は、対象者の3割程度にとどまっていたことから、より多くの方に記念となる機会を提示するため今回の方法とした」



金婚の記念に

## 温泉専用施設建設を目指す



方針が決まった赤倉山荘

赤倉山荘存廃検討委員会から令和8年1月30日付けで、意見書が提出された。この意見書をもとに検討を重ね、貴重な財産である源泉を残していくという判断に至った。

**委員** 「新たな浴室を設置するのか、現在の風呂はどうするのかな」

**当局** 「令和9年度以降の指定管理期間中に、別棟に小規模な温泉専用施設の建設を目指す方針。また、新しい温泉施設完成まで利用者の安全性を確保しつつ現在の風呂を活用していく」

**委員** 「施設整備については財政負担も考慮し、観光資源としての活用も含め、慎重に検討すべき、民間事業者との連携による施設運営の検討を求める」

**当局** 「現段階では想定事業としており、内容は今後検討していく」

# 町長の初予算 肝入り施策は

町長 人口が減っても住みやすい町へ



**町長** 人口が減っても住みやすい町づくりを進める方向性を示している。

**町長** 令和8年度当初予算の重点施策の分野と、その選定にあたっての課題認識や将来像は何か。また、本予算で示す町政運営の方向性を伺う。

**町長** 当初予算は、町民の幸福度向上と持続可能な発展を目指す、公約の5本柱（企業誘致、防災、子育て、農林業、文化）を重点に編成した。人口減少下でも「住みやすい町づくり」を進める方向性を示している。

**町長** 町有林は約605ha（人工林512ha、天然林93ha）で、森林組合に委託し管理している。間伐は6か年で約37haを計画し、地形的制約から皆伐の予定はない。過去6年間で約2953万円の収入があり一般財源に活用している。今後も森林環境譲与税や補助制度を活用し、適切な管理と収入確保に努める。基金造成は想定していない。



町有林で財源確保

**町有林の管理と資源で財源の確保を**

**工藤** 町有林は公益的機能の維持に加え、適切な伐採・間伐により木材資源として活用し、財源確保の可能性があると考える。森林整備の遅れや木材価格、森林環境譲与税を踏まえ、現状をどう捉え、今後どう活用していくのか。

**工藤** 除雪により間口に残る雪が住民生活に支障を与えている。契約や仕様の見直し、業者の自主的対応など、実効性ある改善はできないか。また、自力除雪が困難な世帯への支援について、対象拡大や柔軟な運用を検討できないか。

**町長** 間口の雪については、業者に作業方法の工夫を周知し改善に努める。除雪支援制度は重要だが、人員不足により対象拡大や柔軟な運用は現状困難である。今後は地域の支え合いも含め、安心して冬を過ごせる環境づくりを進める。

## 道路除雪における 間口対応改善へ



町民に喜ばれる除雪作業



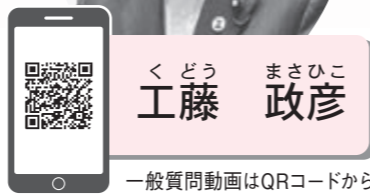
**工藤** 不登校の増加の背景には家庭環境など複合的要因があると考える。虐待は深刻で早期対応が重要だ。本町の実態をどう把握し、関係機関とどう連携して支援体制を構築していくのか。

**教育長** 不登校は一定数あり、家庭環境や学習面など複合的要因と認識している。関係機関と連携し未然防止・早期対応に努めており、今後は小中連携の強化など体制充実を図る。

## 不登校の実態と虐待の把握・対応を

**建設課長** 引き続き指導や早期出勤で丁寧に対応するとともに、シャッター付ブラウ（間口に雪が残らない装置）の導入も検討する。

# あなたにかわって 聞きました 一般質問



一般質問動画はQRコードから

# 一般質問

## 9議員が登壇 我が町政を問う

### 一般質問とは？

- ・年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- ・答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- ・質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

### 質問者

#### 工藤 政彦 議員

- 町長就任後の初予算、肝入り施策について
- 町有林の適切な管理と森林資源を活用した財源確保について
- 道路除雪における間口対応の改善について
- 小中学校の不登校の実態と子どもの虐待の把握・対応について

#### 椎名 志保 議員

- 公共施設に今後の活用計画を
- 農業者との意見交換会から必要な施策をどう考える
- 町の歴史、文化の継承をどう進めていくか
- 選挙における投票率向上の方策を

#### 斎藤 晋 議員

- 除雪について
- 職員の定年前の退職について
- 庁舎内の4階食堂の活用を

#### 小玉 正範 議員

- 五城目高校の存続への対策は
- クマ被害対策
- ごみ回収
- 五城館に保管されている石川文庫

#### 伊藤 信子 議員

- 地域医療並びに緊急療養について
- 糶穀の処理について
- 農業機械の購入助成について

#### 中村 司 議員

- 除雪作業の深化を
- 空き家対策について

#### 佐沢由佳子 議員

- 重層的支援整備事業のこれからについて
- 役場職員の働き方
- 地域防災担い手の育成推進を
- 連続した子育て支援策を
- スピード感のある政策の検討と取り組みを

#### 石川 重光 議員

- 買い物支援と地域活性化について
- 高齢者が安心して暮らせる地域づくりについて

#### 松浦 真 議員

- 「5つの柱・45施策」はどう進捗しているか
- 外部専門人材の成果と今後は
- 「情報のタイムラグ」解消に向けたDX活用と子育て環境の改善
- クマ対策の次フェーズ：被害防止から「資源化（ジビエ）」への道筋は
- 教育留学の充実や放課後の学童充実について

\* 誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

五城目町議会映像配信 [www.gojome-town.stream.jfit.co.jp](http://www.gojome-town.stream.jfit.co.jp)



（中村 司）

# 一般質問

## 児童生徒の減少 教育施設に活用計画を

教育長 時期を見極め、今後を考えていく



ほし 志保  
な 椎名

一般質問動画はQRコードから

**椎名** 五城目小学校、五城目第一中学校は児童生徒の減少により、近い将来、全学年1クラスという状況を招く。教育施設の今後の活用について教育長の考えは。

**教育長** 児童生徒数や社会情勢を踏まえ、時期を見極めて各協議体やワークショップで意見を聞きながら、空き教室の活用を含めた小中学校の今後のあり方を考えていく。給食については自校炊飯・



越える学校の今後のあり方は

調理による温かく、安心安全な給食の提供が児童生徒にとって一番と考える。現状のまま給食を提供していく。

**椎名** もりやまこども園は大川分園舎の老朽化、本園での大がかりな設備更新に迫られている。町長の思い描く子育て総合支援施設に、今後こども園も併設するなど、保育・教育の場を集約し、財政的にも効率的な運営を図っていくことが必要ではないか。

**町長** 持続可能な法人経営について、町とこども園との連携を一層密にし、協議を継続する。子育て総合支援施設の設置は、限られた資源の中で最適な施策を選定し、柔軟に対応していく必要がある。

### 農業者との意見交換から必要な施策は

**椎名** 町内6カ所で行われた農業者との意見交換会では、機械購入補助事業やクマ対策誘引樹木伐採補助について、具体的な意見があった。どのような施策を講じ、農家の耕作意欲の維持向上やクマ対策へ繋げていく考えか。

**町長** 農業機械の導入支援は

過疎計画に載せ、実施に向けた制度設計を作成している。誘引樹木伐採については、支援単価を上げるための改正を令和8年4月の制定に向け進めているが、処分は対象としない。

**椎名** イノシシ被害の切実な意見も聞かれた。有効な対策は。農地被害復旧にも支援が必要ではないか。

**町長** 電気柵設置は一定程度の効果があった。農地被害復旧には多面的機能支払交付金事業を活用。活用できない地域では状況把握に努める。

### 歴史、文化の継承 どう進める

**椎名** 秋田追分全国大会について町から「年々出場者や来場者が減少しており、秋田追分の正しい伝承と保存及び普及を図るための達成度は低くなってきている。改善策を見出す必要と大会の存廃も検討しなければならぬ」との見解が示された。後世に語り継ぐべき町の歴史や文化をどのように考えていくか。

**町長** 秋田追分全国大会は、貴重な芸能・民謡文化を正し

### 政治へ より民意反映を

**椎名** 14カ所あった投票所が7カ所に削減された。高齢の有権者から買物に併せたイオンでの期日前投票や、各地区を移動投票所で回る提案がある。投票率向上のため検討してはどうか。

**町長** 人員の確保、通信環境の整備、投票管理の厳格化など課題が多い。投票環境の向上策を選挙管理委員会と共有していく。



町の財産である秋田追分全国大会

く伝承、保存し、次世代へ継承していく文化的意義の高い大会である。どう守り、どう継承していくかを実行委員会と協議していく。

# 一般質問

## 初期除雪は完全に

町長 委託業者と協議する



すすむ 齋藤

一般質問動画はQRコードから

除雪委託業者との冬期交通除雪打ち合わせ事項より質問した

### 除雪は最初が肝心だ

**齋藤** 「初期除雪は完全に実施し、圧雪及び、わだちが生じないよう作業に努めること」とあるが、圧雪や、わだちが無い状態でない。この条項が守られていないと考えるが、町はどう見ているのか、どう改善するのか。

**町長** 指摘の通り、圧雪やわだちとなっている箇所が見られるため、今後県の仕様を参考に路面整正工実施することを委託業者と協議したい。

### 間口に雪の塊を残すな

**齋藤** 「除雪作業に起因し各屋々の間口及び車庫前に雪塊が発生した場合は、担当業者の責任において除去すること。」とあるが、実行されていない。町民が我慢しているのはこの条項を知らないからである。業者に指導をすべき。

**町長** 除雪業者にも大きな雪塊が残らないよう指導はしているが、雪質などで塊となる場合もある。ひどい場合は除

### 馬場目川に雪を排雪してはならない

**齋藤** 馬場目川に雪を捨てている業者がいるが、これは町が許可しているのか。

**町長** 馬場目川に排雪している件、町では許可は出していない。そういう事案も見受けられたので、河川に排雪しないよう指導している。



鍋まつり前に大規模な排雪作業を実施



きめ細かい除雪を

- その他に
- 交差点横断歩道の雪塊の改善について
  - 消防施設には堆雪しないこと
  - 交通標識の除雪による損傷事案について
  - 排雪作業の機械トラックの台数の原則について
  - 積雪吹き溜まりの発生の場合監督員と協議・指示について
  - 除雪作業の時間について
  - 圧雪の完全除去・道路幅員確保について
  - 業者の路面パトロールについて
  - 除雪運転手の待機の対価を質問した

# 地域医療の充実を

町長 関係機関と連携し  
取り組んでいく

**伊藤** 救急体制への負担が大きくなっている。医師数の減少により、ドクターカーを整備・運用することで、救急車の出動要請の軽減につながる。検討している。検討してはどうか。

## ドクターカーの導入検討を



一般質問動画はQRコードから



なくてはならない湖東厚生病院

**町長** 入院については急性期治療を終えた回復期の患者の転院受入れや、在宅患者や施設入所者の急変時受け入れなどをしている。

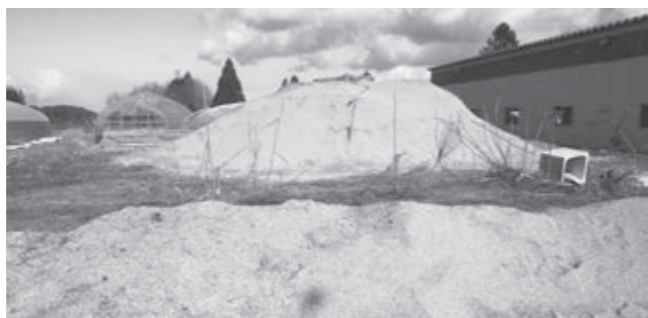
**伊藤** 人口減少と高齢化が進み、ニーズが高まっている。厚生連病院は、地域にとって重要な医療拠点だが、療養病床や終末期医療が十分とは言えない。

## 今後の終末・長期療養型医療は

## 糞殻の処理をどうする

ような連携や協力が必要で、効果があるかなどを協議したい。

**伊藤** 稲作後に発生する糞殻の処理について、困っているとの声がある。環境保全の観点から糞殻の焼却が禁止、厳しく制限されている。町内には糞殻を受け入れる処理施設や集積センターがない。環境対策と農業現場との間に生じている課題を町としてどのように認識しているのか。



山積みの糞殻

## 農業機械に助成を

**伊藤** 9月定例会でも質問をしたが、高齢化や機械更新に伴う経済的負担の増大を踏まえ、農業機械購入の助成についての進捗状況は。

**町長** 導入支援に関して実施に向け制度設計を作成している。

# リチウムイオン電池 回収は町で

町長 破損・膨張の有無を問わず  
一括回収する



**小玉** 近年、リチウムイオン電池による発火事故が全国で相次いでいる。家電量販店やホームセンターなどの「回収協力店」で引き取っているが、破損や膨張したものは受け付

# あなたにかわって 聞きました 一般質問



一般質問動画はQRコードから

けない。町で一括して回収すべき。

## クマ被害対策を

**小玉** 昨年は、役場敷地内にクマが2度ほど出没した。この状況をどのようにとらえているのか。

**町長** 役場敷地内での目撃に限らず、町中心部でのクマの目撃が多くあり、非常に大きな危機感を持っている。

**小玉** 河川敷に箱わなを設置したり、出没したクマへ緊急銃撃を行うことができるのか。前回は、緊急銃撃のための訓練は都合がつき次第行うとの回答だったが。

**町長** 河川敷への箱わな設置や緊急銃撃は現在検討中である。馬場目川は、県管轄の河川であるため、箱わな設置には占用許可が必要であり、協議を進めていく。

## 五城目高校存続の対策は

**町長** 五城目高校教育振興会の中に、魅力向上検討部会設置の了承が得られた。今後は委員選定を行い、魅力向上について検討を進めていく。

**小玉** 今年3月の五城目高校受験志願者数が15人だった。この人数について町長の考えは。

**町長** 昨年の受験者が13人であり、本年15人に増えたことは良かった。来年度もランチプロジェクトや新入生へのタブレット導入支援を継続し、入学者の増加を目指し、高校の存続を図っていく。

**小玉** 生徒を呼ぶための「魅力的な学び」として、①ドローンの学習や実習を取り入れること。②eスポーツについて、授業や課外クラブなどで扱うのはどうか。

**町長** 検討材料の一つとしておく。



湘南高校ドローン体験(広島)

## 石川文庫の活用は

**小玉** 昨年3月の答弁では、「寄贈された図書は、菅江真澄遊覧記など200冊を超えるところのこと。関係者と協議し、利活用を教育委員会に委託された場合に所蔵場所や活用方法を協議する」とあったが、その後の進展は。

町民から寄贈された大切な財産を、活用できる状態にして展示することが最善と考えらる。

**町長** 昨年5月、現状確認を行った結果、石川文庫の書籍は気軽に手に取って読書する状況ではないことが分かった。ご遺族の意向に配慮し、五城館内で手に取りやすい場所へ移動することが最良と考えた。状態が良好な書籍だけでも、2号館1階へ移動して展示することを検討している。



五城館の石川文庫

# 高校生世帯への支援を

## 町長 財源確保が課題、調査検討する

**町長** 国の政策による小学生の給食無償化の財源として、給食補助金を計上している。給食無償化基金への財源が縮小される。その分は財政調整基金の積み立てとする。

**佐沢** 切れ目の無い子育て支援のために、高校生世帯への支援も重要であると考ええる。通学費補助や今年度から自己負担となるICT機器の購入支援など、具体的な負担軽減策について検討する機会としてはどうか。

**町長** 子育て支援と公共交通の利用促進の観点から有効な施策と認識するが、継続的な

あなたにかわって聞きました

## 一般質問



さざわ ゆか こ  
佐沢由佳子

一般質問動画はQRコードから

**町長** 重層的支援体制整備事業への国の補助金が、最大の削減との報道があり、今後の制度設計や財源確保に影響があると考ええる。この状況をどう受け止め、今後どのように推進していくのか。

**町長** 具体的な対応策は、今後国・県の動向情報を踏まえ進める。町民を取り巻く課題は多様化しており支援体制の整備は急務である。実効性のある仕組みを作り、財源の確

### 重層的支援体制の 今後は



高校へと巣立つ子供たち

財源確保が課題。効果的で公平な支援の調査検討を進めていく。

高校進学時の自己負担による家計への影響は認識している。五城目高校の存続と魅力向上を図るため、今年度五城目高校入学者を対象に、学習用タブレット端末を町から支援策として提供する。



重層的支援体制整備事業の推進を

**町長** 昨年度は県事業を活用し、女性消防団員2名が資格

**佐沢** 水害があり防災意識が高い一方、消防団員の確保が課題となっている。防災士資格は、女性や若者など消防団と関わりの薄かった住民が、地域防災に参加する有効な入り口になると考える。県の地域防災の担い手育成事業の動向を踏まえ、資格取得支援や研修参加の促進を行うべきと思うが、町の考えは。



消防団員の確保が課題

**防災士の育成を**

保に努め、事業を推進していく。

を取得した。今後も防災士の養成を進め、消防団や自主防災組織との連携を強化することで、地域防災力の向上に努める。

# 除雪作業の苦情・要望に どう応える

## 町長 堆雪場所確保に努める



雪置き場（空き地）に感謝

**町長** 今季寄せられた除雪に関する苦情内容は、110件の苦情や要望があった。

①代表的な事由は、間口に塊があるなど(17件)

あなたにかわって聞きました

## 一般質問



なかむら たかし  
中村 つかさ

一般質問動画はQRコードから

**町長** 担当路線業者と共有、対応に努めている。また毎年6月に除雪業者との打ち合わせ会議で、担当路線への苦情を取りまとめ、次の除雪シーズンに注意点を申し送りして苦情・要望を活かせるよう努めている。

**中村** 本町部において、所有者の許可を得て、排雪場所を確保、看板や目印を設置するなどし、地域住民と除雪業者（オペレーター）が情報を共有し、共同利用する仕組み作りは出来ないか。

**町長** 町としても置き場所の確保は必要と感じている。来

**除雪作業の深化を**

**中村** 今季寄せられた除雪に関する苦情内容は、110件の苦情や要望があった。

①代表的な事由は、間口に塊があるなど(17件)

②発生地域別件数  
・本町部60件、馬川地区11件、森山地区10件、大川地区10件、富津内地区8件、馬場目地区6件、内川地区5件

③属性(高齢世帯・男女別など)詳細は把握できていないが、苦情箇所への立会や確認によると、間口への苦情は高齢者が多く見受けられた。

**中村** 苦情や要望を除雪作業にどのように活かしているか。

**町長** 担当路線業者と共有、対応に努めている。また毎年6月に除雪業者との打ち合わせ会議で、担当路線への苦情を取りまとめ、次の除雪シーズンに注意点を申し送りして苦情・要望を活かせるよう努めている。

**中村** 本町部において、所有者の許可を得て、排雪場所を確保、看板や目印を設置するなどし、地域住民と除雪業者（オペレーター）が情報を共有し、共同利用する仕組み作りは出来ないか。

**町長** 町としても置き場所の確保は必要と感じている。来

季は、町内会長などを通じ、空き地などを排雪場利用できるように確保に努める。

**増える空き家  
どうする**

「町づくりアンケート」結果によると、世代全体（年代別集計）において、空き家対策が「最も満足度の低い項目」であった。

**中村** 今年度空き家調査を実施したが、調査目的や方法、内容、調査結果などを伺う。

**町長**

①調査目的  
空き家の実態把握をし、適正管理の促進と活用施策の検討

②調査件数  
今年度の調査件数は819件で、1日当たり10件〜20件

③町が把握している空き家・空き店舗は何件か  
空き家733件（空き店舗含まず）

④調査の結果判明した問題点や課題は  
空き家については約半数の物件で外壁や屋根の破損、敷地管理が不十分な状況が確認

された。またすぐに利活用が可能と見込まれる物件は1割に満たない状況であった。

**中村** 町独自の「空き家管理サービス」を創設して、建物所有者や納税者との信頼関係の構築・維持に努めることが、空き家発生予防として有効と考えられる。実施の考えはないか。

**町長** 町独自の管理サービス事業を創設することは予定していない。令和8年2月12日に(株)ジチアアドと「空き家等解消に向けた官民連携に関する協定」を締結。同社が運営するプラットフォーム「アキソル」を開始した。

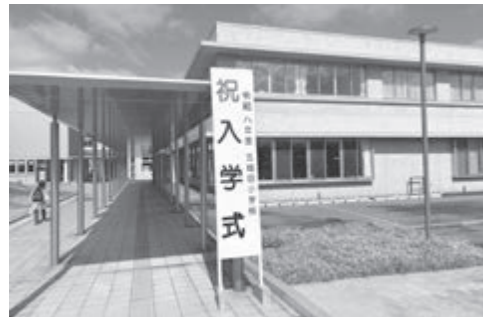


相談無料「アキソル」

# 「5つの柱・45の施策」の自己採点は

町長 現在は50点

1. 周辺自治体と連携したイベント開催
  2. 雀館公園一帯をこどものびのびゾーンとして整備
  3. 新たな農業法人の設立と支援強化
  4. 林業事業者への支援による人手不足解消
- 要因としては、予算の裏付けや優先順位、また災害対応による担当課の多忙などが挙げられる。残りの任期で実現



学校行事日程を早めに

**町長** 自己採点は、昨年9月の定例会と同様に「既に取り組んでいるを○」「準備を進めているを△」「未着手を×」として分類。現在の状況は、45項目中、○が18項目(40%)、△が23項目(51%)、×が4項目(9%)となっている。

**松浦** 未着手の4項目は、なぜ進捗が遅れているのか。

**町長** 進捗が遅れている4項目は、

1. 周辺自治体と連携したイベント開催
2. 雀館公園一帯をこどものびのびゾーンとして整備
3. 新たな農業法人の設立と支援強化
4. 林業事業者への支援による人手不足解消

要因としては、予算の裏付けや優先順位、また災害対応による担当課の多忙などが挙げられる。残りの任期で実現

**町長** 自己採点は、昨年9月の定例会と同様に「既に取り組んでいるを○」「準備を進めているを△」「未着手を×」として分類。現在の状況は、45項目中、○が18項目(40%)、△が23項目(51%)、×が4項目(9%)となっている。

**松浦** 未着手の4項目は、なぜ進捗が遅れているのか。

**町長** 進捗が遅れている4項目は、

1. 周辺自治体と連携したイベント開催
2. 雀館公園一帯をこどものびのびゾーンとして整備
3. 新たな農業法人の設立と支援強化
4. 林業事業者への支援による人手不足解消

要因としては、予算の裏付けや優先順位、また災害対応による担当課の多忙などが挙げられる。残りの任期で実現

## あなたにかわって聞きました 一般質問



一般質問動画はQRコードから

に向けて努めていく。

**松浦** こどものびのびゾーンは、これまで多くの議員が遊具の設置について発言している。子育て層からは「いつできるのか」と常に問われている。どのタイミングで進展させていくのか。

**町長** 現在は、町の計画への反映や、4月から健康福祉課内に設置される「こどもセンター」との連携を含め、制度設計の準備段階。具体的な時期は明示できないが、着実に進めていく。

### 行事通知の迅速化を

**松浦** 学校や町からの行事通知が直前になるケースがあり、共働き世帯が休暇調整に

### 外部専門人材の登用と組織文化への影響は

苦慮している。DXを活用し、年間・月間の予定を早期に保護者へ届けられないか。

**教育長** 今後は余裕を持った発送に努める。年間行事については、4月のPTA総会で配布される学校報やホームページにも掲載している。DXの活用については、効果的な情報発信の方法を模索・検討していく。



外部人材の活用を

# 買い物支援と地域活性化を

町長 民間事業者による取り組みに支援



スーパーマーケット開設が望まれる

**石川** スーパーの閉店に伴い、地域住民は買い物に不便を感じている。移動販売車による巡回はあるが、本町部については未だ浸透していない。テナント募集によるコミュニケーションスペースと

## あなたにかわって聞きました 一般質問



一般質問動画はQRコードから

### ネット販売による活性化を

**石川** ネット販売も含めた五城目らしい食材商品「朝市セット(仮称)」の販売で集客を図り、地域の賑わいの創出を推し進めることは出来ないか。

**町長** 町の魅力発信や朝市の活性化の観点からも意義ある取り組みと受け止め「朝市セット」の可能性について協議していく。今後、民間事業

食品加工販売施設を兼ね備えたスーパーマーケットの開設は出来ないか。

**町長** 当該施設については、法的手続きの途中にあり、現時点で具体的な利活用や事業構想を示すことは、慎重であるべき。

店舗の減少が地域社会に与える影響を重く受け止めている。協定を締結したJAあきた湖東との連携による買い物支援や町民生活への影響軽減に向けた対応をしていく。

### 安心して暮らせる地域づくり

**石川** 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来る環境を整備することが大きな課題だ。

在宅高齢者支援の具体的な取組とその評価について。

**町長** 介護保険制度における諸事業、給食サービス事業、緊急通報システム事業などを実施。介護保険サービスの制度上、利用できる内容や回数に制限があることや、給食サービスや緊急通報システムにもそれぞれ課題があり、現在の取組を精査し、安心して暮らせる環境整備につなげていきたい。

### 高齢者と若者の交流創出へ

**石川** 高齢者の孤立防止や生きがい創出は、若い世代にも貴重な学びの機会になる。高齢者と若者が、交流できる場の創出への取組は。

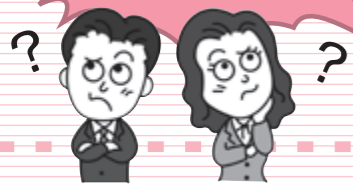
**町長** 高齢者の豊富な経験や知識を継承する機会となるような工夫をして、子どもとの交流機会を来年度3回計画している。



あれ

# なんとなったべが!

令和7年3月定例会一般質問より



### 問

大川の堤防工事と竜馬橋周辺の土砂撤去はいつから始まるのか。馬場目川下流からの土砂撤去に対する町と県の対応は。

**1年前の答弁** 大川の堤防工事は、鉄道橋に隣接しているため、県がJR東日本と協議中。令和7年度中の発注を予定。土砂撤去は現在計画にはない。今後も県による河川の維持工事は継続していくが、町は県に対し下流部の土砂撤去などの要望を継続する。

**現在** 堤防工事は、県の災害復旧工事として令和7年度に2回の入札公告をしているが、いずれも入札不調。このため、設計の見直しや変更を行うため国と協議中であり、協議が整ってから3回目の公告を目指している。また、土砂撤去の維持工事は継続して実施はするが、竜馬橋付近の実施予定はない。



災害復旧工事を待つ大川の堤防

### 問

2024年度のふるさと納税寄付額が県内最下位となった。寄付額の増加に向けた具体的な対策は。

**1年前の答弁** ふるさと納税の寄付額増加のため、町の宝を生かしたブランディングを進めて寄付額を増加させたいと考えている。

**現在** これまでの取り組み方を見直し、地域の事業者と協力いただき、令和8年度から新たな体制でふるさと納税業務に取り組んでいく。新商品の開発にも努める。



### 問

森山登山道が整備されず、町民や森山を愛する人々は困っている。町の取組は。

**1年前の答弁** 早期にNTTDコモ側へ管理道を町が引き受ける検討を始める旨を伝え、協議の場を設置できるよう努力する。

**現在** 管理道については、NTTDコモから町へ管理移行することを前提とした協議を進めているところであり、協議の進展があった段階で報告したいと考えている。



森山の入口に「通行止め」看板

### 問

若者の町定着対策の一つとして、土地の購入資金の助成や、町有地を分譲するなどの対策ができないか。

**1年前の答弁** 立地適正化計画を踏まえ、土地の公売などに取り組みたいと考えている。

**現在** 売却候補地はあるが、いずれの土地も整地や水害対策など宅地分譲するには条件が付される。環境整備など条件を満たすべく一部土地について令和8年度予算化し、払い下げについては適正価格を考えている。



## オレたち『傍聴族』

●『傍聴族』とは？  
気軽にみんなで傍聴しようと呼びかけている町民有志の議会傍聴グループ。  
令和7年12月には、民主主義の発展に貢献している優れた取り組みとして、第一回民主主義大賞の優秀賞を受賞。



傍聴の魅力を講義

「みんなの学校」で、1月20日「議会傍聴のすゝめ」と題した講座が開催され、17名が参加した。  
講師は、五城目町議会事務局長千田絢子氏と傍聴族の発起人の坂谷彩氏。参加者は、議会傍聴の仕方、傍聴族とはの講義のあと、実際の議場を見学した。



実際の議場を見学



みんなで記念撮影

## 3月定例会にもたくさんの方が傍聴に!!



率浦大学の皆さん



大川地区公民館の皆さん

令和8年度も、皆さんのお越しをお待ちいたしております。

## 意義ある発言機会は大事な議員活動の場といえます。議会を傍聴してみませんか？

傍聴の手順をご紹介します。事前連絡は不要です。

①役場4階へ上がります。  
(エレベーターをご利用ください)



②議会事務局前で受け付け。  
(受付表に必要事項を記入)



④町の方向性を直接聞くことができます。  
(開会中はお静かに願います)



③階段で傍聴席へ。  
(定員40名)



(佐沢由佳子)

# わたしの居場所

“仲間と共に”



## 『出羽山岳会』

会長 本間 重春さん  
事務局 小玉喜美雄さん

### どんな活動をしているか

五城目町の最高峰である馬場目岳（標高1037.4m）をホームグラウンドとする山岳会。71年前の昭和30年に発足し、現在の会員は40代〜70代の18名（男性13名・女性5名）。今まで富士山をはじめ、鳥海山・秋田駒ヶ岳など県内の山々や奥穂高岳・劔岳などのアルプスといった各地の山に登っている。

### 今後の活動は

今年5月の森吉山をスタートに茶臼岳・栗駒山・常念岳などの登山、10月下旬の桃洞滝・赤水溪谷紅葉トレッキングを計画。興味のある方の入会を歓迎している。  
平成21年まで町主催で実施されてきた馬場目岳清掃登山が、当町の登山口、銀の沢コースの道路崩落などにより実施できない状況にある。整備し再開されることを望んでいる。

### 活動して思ったこと

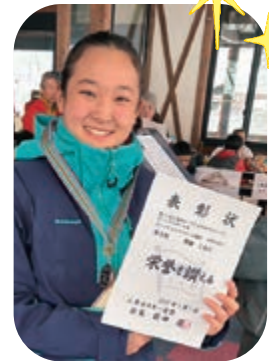
●メンバー全員の体力を把握することが重要。  
●楽しい山歩きの秘訣のひとつにメンバーの存在がある。最新の装備より、信頼できる仲間が山でははるかに大切。



（石井和歌子）

# がんばってます

なりたい自分になるために



五城目第一中学校  
2年

齊藤 □□さん

私は、アルペンスキーを頑張っています。それはなりたい自分になるためでもあり、私が一番好きなスポーツだからです。

スキーは私に道具を大切に使う事を教えてくれました。これはどんなスポーツでも大切な事です。板の手入れの差で大きくパフォーマンスが左右されるスキーだからこそ気付いたことです。天候や気温、雪温などにも大きな影響を受けます。まったく違う条件でのトレーニングやレースから学びが沢山あり、一つ一つの貴重な経験です。その経

験でしか得られない感覚が、私にとって頑張る原動力になっていっていると思います。もう一つ、中学生になってから陸上競技にも力を入れています。種目は100mハードルです。これまで練習で何度もケガをしました。その傷跡が今では、苦難を飛び越えてきた証となっています。

私にとって、スキーも陸上も将来なりたい自分に近づくための大切な存在です。これからも、全力で頑張っていきたいと考えています。



（佐沢由佳子）

## 編集後記



植物も芽吹く季節になり、動物たちも活発に動き始めている。雪が解け、本来は春の喜びを感じながら山菜採りや散歩を思い切り満喫したいところだが、今年度もより一層、鳥獣被害対策に向き合う必要があり、気が引き締まる思いである。  
五城目朝市Plus+は回数が増え、0・2・5・7のつく週末に開催される。ワイワイ賑わっている朝市を散歩し、季節の空気を感じてはいかがでしょうか。  
4月から広報編集委員長に就任。分かりやすく、親しまれる議会だより作成に努めていきたい。

議会広報編集委員会  
委員長 佐沢由佳子 記

